



会長 築瀬 敦

= 築瀬 敦 会長スローガン =

“ロータリーのマジックを信じ 地域にマジックを掛けよう”

■例会日:毎週水曜日 12:30～ ■例会場:ホテルシーズン日南

■事務局:日南市岩崎3丁目4番地1-2号 Itten堀川ビル2F 創客創人センター内

TEL:0987-22-3363 FAX:0987-22-3515

第3413例会	No.32	2025.3.19	
点鐘・ロータリーソング	12時30分 「我等の生業」		
四つのテスト	日高 章太郎君		
例会行事	PETS報告 斉藤 篤史君		

会長時間



世界水の日、毎年3月22日に世界中で水資源の大切さを考えるために設けられた国際的な記念日です。これは、1992年にブラジルのリオデジャネイロで開催された国連環境開発会議で提案され、同年12月の国連総会で正式に制定されました。翌1993年から毎年実施されています。世界水の日、次のような目的で設けられています。1つめは、水資源の保全と持続可能な管理の促進です。地球上の水資源を守り、効率的に活用するための意識を高めることです。2つめは、安全な飲料水へのアクセスの向上です。世界には未だに清潔な水を確保できない人々が多くいるため、水への公平なアクセスを推進することが求められています。3つ目に、水に関する問題の啓発を行い、気候変動や人口増加による水不足、汚染、異常気象の影響などについて人々の理解を深めることです。世界水の日には毎年異なるテーマが設定され、水に関する様々な課題が取り上げられます。最近のテーマの例をいくつか紹介しますと、2021年は「水の価値」というテーマで、水の本当の価値について考え、適切に管理することを促しました。2022年は、「地下水という目に見えない資源を可視化する」ということで、地下水の重要性と持続可能な利用に焦点を当てました。2023年は「加速する変化」で、水と衛生の問題解決を早めるための行動を促進しています。私たちが世界水の日にはできることはたくさんあると思いますが、まずは、節水を意識し、無駄な水の使用を減らし、効率的に利用することです。そして、水資源について学ぶことも重要です。世界の水問題について調べたりして、それをSNSで発信したりすることもできます。地域の清掃活動や環境保護のイベントに参加し、水を守る活動をしたり、水不足に苦しむ地域を支援したり、そのような活動を行う団体に寄付したりすることも大切です。ロータリークラブは、毎年3月22日の「世界水の日」を中心に、3月を「水と衛生月間」と位置づけ、水資源の重要性や衛生環境の改善に関するさまざまな活動を展開しています。そこで、日本のロータリークラブの具体的な取り組みの例を紹介します。四日市ロータリークラブでは、2024年3月7日に「国連持続可能な開発目標(SDGs)と水と衛生を考える」をテーマに講演会を実施しました。この講演では、地球規模の水問題や地域の水環境の特徴、気候変動による水危機などが議論され、参加者の水資源に対する理解を深めました。福島ロータリークラブは、「スポGOMI」競技を通じて、地域の清掃活動や環境保全に取り組んでいます。これにより、地域社会の環境意識を高め、水質保全にも寄与しています。広島北ロータリークラブは、台湾の花蓮県米棧村(かれんけん べいさんそん)での水質改善プロジェクトを実施しました。現地の取水設備の改善を通じて、住民への安全な水の供給を確保し、地域の産業発展や若者の定着に寄与しています。これらの活動を通じて、日本のロータリークラブは地域社会や国際社会における水と衛生の課題解決に積極的に取り組んでいます。先ほど、世界水の日には毎年違ったテーマがあると言いましたが、2022年は地下水でした。毎年11月19日は、国連によって定められた「世界トイレの日」で、2022年世界トイレの日のキーワードは地下水でした。

た。世界トイレの日は、トイレの大切さを認識し、安全な衛生設備が使えない数十億もの人びとに関する理解を深め、行動を起こすことが呼びかけられています。きれいで安全なトイレを使えるのは日本では普通のことですが、世界にはトイレが使えずに屋外で排泄する人が数百万人おり、それが原因となって感染症で毎日何千人もの子どもが命を落としています。この問題は、公衆衛生だけでなく、教育、経済、環境にも深くかかわっていて、特に多くの女性や少女にとって、安全に管理された衛生設備が利用できないことによる屈辱、不便さ、危険により、社会への全面的な参加が妨げられています。トイレにまつわるロータリー会員による取り組みをピックアップしたものがありませんのでご紹介します。エルサルバドルでは、サン・サルバドル・マキリシュアット・ロータリークラブが TOILETON と称するプロジェクトを実施し、国内三つの公立学校に男女別のトイレと洗面台、適切な水管理システムを設置しました。さらに、プロジェクトの重要な要素として、教師と生徒、地域住民に対する衛生習慣の研修も行いました。2019年には、東京東江戸川ロータリークラブがタイのアカ族に浄水機を寄贈し、その贈呈式に原町中央ロータリークラブ会員が同行しました。村にトイレが一つしかないことを知った原町中央ロータリークラブ会員は、アカ族の村にトイレを設置する活動を開始。2020年以来、二つの村にトイレを設置し、今後も募金を行いながらこの活動を続ける計画を立てています。ガーナでは、ケープコーストセントラル・ロータリークラブ（ガーナ）とカナダの第 7040 地区ロータリーE クラブが協力して、同国の都市オブアシにボアホールとマイクロフラッシュトイレ（簡易水洗トイレ）を設置。そのおかげで、25,500 人以上の住民の衛生状況が改善されました。フィリピンでは、イントラムロス-マニラ・ロータリークラブが、オーストラリアのベートマンズ・ベイ・ロータリークラブと協力して、アエタ族の三つの村にトイレを設置しました。完成後には、衛生習慣に関する住民向けのワークショップも行いました。2022 年の世界トイレの日のテーマは地下水-不可視なものを可視化するでした。不十分な衛生システムによって人の排泄物が河川や湖、土壌に入り込み、地下水の汚染の原因となっています。しかし、地下水という目に見えないところ、しかも最も貧しく、社会から取り残されたコミュニティで汚染が起きているため、問題が可視化されにくくなっています。地下水は、人間にとって最も大切な淡水源であり、飲み水や衛生システム、農業、工業、生態系を支えています。自然の水源地を汚染から守り、持続可能な方法で使用し、人間と地球のニーズのバランスを保っていくことが必要です。2022 年の世界トイレの日の重要なメッセージは、衛生を適切に管理することで人の排泄物による汚染から地下水を守れるということです。地域社会で水・衛生プロジェクトを実施するため、水と衛生のロータリー行動グループである WASH RAG と協力して地域社会の調査を実施し、地元における水・衛生の優先ニーズを見極めたり、この WASH RAG のウェブサイトある、我々が支援できる既存の水・衛生プロジェクトを見つけたり、ロータリーショーケースに掲載されている他クラブが実施したプロジェクトからアイデアを得たりとクラブと地区で支援できることはたくさんあります。地下水、そして人びとの命を守るには、適切なトイレと衛生設備が大切であること、またトイレを利用できない人が世界にはまだ大勢いることを人びとに伝えることが、私たちにできる支援ではないでしょうか。最後に少し、世界の水事情の話をして。世界の水事情は地域によって大きく異なりますが、ポイントがいくつかあります。まずは水資源の偏在です。地球の約 70% が水で覆われていますが、その 97.5% は海水で、淡水はわずか 2.5% しかありません。さらに、淡水の多くは氷河や地下水として存在し、利用可能な水はごくわずかです。地域によって降水量や水源が異なり、水の豊富な国と不足している国があります。つぎに水不足が深刻な地域があるという事実です。中東・北アフリカでは、降水量が極端に少なく、多くの国が地下水や海水淡水化に依存し、南アジア・アフリカの一部では人口増加や気候変動の影響で水不足が深刻化してきています。水質汚染の問題も深刻で、発展途上国では、工業排水や生活排水の処理が不十分で、飲料水が汚染されているケースが多く、水質汚染が原因で年間何百万人もの人々が病気にかかっていると報告されています。先進国ではというと水の使用量が多く、特に農業や工業分野で大量に使用されていて、問題になっていますが、節水技術や再利用システムの導入が進んでいます。しかし、さらなる改善が求められています。最近では、気候変動により、降水パターンが変化し、干ばつや洪水が増加しています。これは、日本でも局地的な豪雨や、勢力の強い台風が増えてきたことで感じている方も多いと思います。地域によっては水資源がますます不安定になっているため、持続可能な水管理が必要で、水の利用効率を高め、水の再利用・浄化技術を進化させることが、今後の重要な課題となっています。

幹事報告

1. 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より、“ハイライトよねやま No300 号”が届いております。
2. 3月26日開催予定の『観桜会』の出欠が未定の方は、準備の都合もありますので、出欠表を再度回覧します。ご記入をよろしくお願い致します。

＝PETS(Presidents-Elect Training Seminar)報告＝

齊藤 篤史エレクト



1 日目

延岡市のエンシティホテル延岡にて開催されました。12:30 より受付開始。13:00 第一本会議が西本幸則ガバナーエレクトとの点鐘で開会いたしました。笹山ガバナーのあいさつの後、次年度 RI メッセージ、および地区方針について西本ガバナーエレクトより発表され、2025-2026 国際協議会報告がありました。2025-2026 年度はマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ RI 会長エレクトの下で活動していきます。2025-2026 年度国際ロータリーメッセージは「UNITE FOR GOOD」「よいことのために手を取り合おう」です。こマリオ会長エレクトのメッセージは、ロータリーの精神に基づき、私たちが一丸となって社会に良い影響を与えるために力を合わせることを呼びかけています。国際会議のスピーチの中で、会員増強は私たちの組織の最優先事項であり、最も価値ある資産であり、最大の課題であると強調しました。そしてロータリーの未来を確かなものにするには、組織全体で会員増強に力を注ぐことが不可欠であるとも言い、ロータリーの最大の財産は、会員だと言いました。そして革新こそが、変化するこの世界に私たちが適応する手段なのです。分裂されがちな世界において、ロータリーは団結と希望の光になります。私たちのプロジェクトは人種、性別、思想、経済的背景の異なる人を結び付け、世界でよいことをするという共通の目的で私たちをひとつにします。そしてロータリーは、より良い人間となり、人々に奉仕し末長いインパクトをもたらすよう、私たちを鼓舞します。楽しむことを忘れず、成長、奉仕、つながりの旅路を共に歩んでいきましょう。そしてよいことのために手を取り合えるロータリーを築き、すべての人にとって、より明るい未来を実現させましょう。これがマリオ会長エレクトが RI メッセージとし掲げる「UNITE FOR GOOD」「よいことのために手を取り合おう」です。そして RI 会長エレクトはリーダーシップの三つの柱として

- ① 自然に何かをさせる人
- ② 自然に何かを起こさせる人
- ③ 起こったことに驚く人を挙げています。

そして次の9つの行動計画です。

1. 新しいクラブの設立 → 衛星クラブ 法人クラブ 特殊なクラブ
2. 衰えつつあるクラブの復活 → 20 人以下のクラブ 消滅しないように
3. 伝統的クラブの強化 → 衰退しないように
4. 元会員の参加を促す → 経験がある 適応性がある
5. 青少年に働きかける → 学友 ローターアクト インターアクト ライラ
交換留学生（投資の見返り） 将来の引継
6. 親睦 → 行動活動チャンス 特定分野 専門企業
7. 専門団体 → 弁護士 建築家
8. 未開発の地 → 貧困 未開発 人口当たりの少ない所＝ロータリーの砂漠
9. 行動の呼びかけ → ガバナー補佐が大事

RI 会長エレクトは最後にロータリークラブは、だれのものでもない。次世代に残すことが使命。変化の力、大胆に行動、心を込めて行動、よいことを楽しんで、仕事につなげる と国際協議会を閉会した。そして西本幸則ガバナーエレクトの第 2730 地区のメッセージは「居心地の良いクラブとは」です。退会防止に努め、会員増強を行い、楽しいクラブをつくりましょうという方針です。西本ガバナーエレクトは 2025-2026 年度マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ会長エレクトのメッセージ「UNITE FOR GOOD」「よいことのために手を取り合おう」をもとに当地区では以下のことを胸に秘め、活動して参りましょうと言われました。

1. DREAM(夢) : 大きな夢を持ちましょう。
2. CONNECT(つながり) : チームワークは成功の秘訣です。
3. PLAN(計画) : 計画にコミットする。
4. ACT (行動) : 行動はことばより大きな声で語る。

5. FAIL(失敗) : 失敗を受け入れ、そこから学び続ける。
6. RECOGNIZE & APOLOGIZE(認識と謝罪) : チームの努力を認め、必要であれば謝辞する。
7. TAKE RESPONSIBILITY(責任を持つ) : 自分の役割を真剣に捉え、成果を追求する。
8. HAVE FUN(楽しむ) : 楽しい環境をつくる。

成長のために「不可欠な3つの柱」

1. 革新(会員増強)
 - ・若い会員を迎え、目的やつながりを求める年配の方々の参加も必要。
 - ・衛星クラブ、分野特化型クラブ、法人クラブ、パスポートクラブなどの新設。
2. 継続性の重要性
 - ・継続性は地区リーダー同士の連携。
 - ・3年間の目標(3-YEAR-GOALS)の2年目の達成。
 - ・発展させていけるような協力の遺産を築く。
3. パートナーシップの力
 - ・ポリオ根絶活動の歴史 = ゲイツ財団・WHO・UNICEF
 - ・会員増強にもこの歴史を活かす。
 - ・ロータリーの価値観を共有し世界でよいことをするロータリーの力を拡大できる。です。

ガバナー補佐の協力の重要性

- ① より大きなインパクトをもたらす。
- ② 参加者の基盤を広げる。
- ③ 参加者の積極的なかわりを促す。
- ④ 適応力を高める。

重要事項

- ① 楽しむこと
- ② 公共イメージの向上
- ③ 奉仕活動への支援
- ④ ロータリー財団への理解
- ⑤ 米山記念奨学会への協力

以上が第2730地区2025-2026年度西本ガバナーエレクトの基本方針と活動計画です。

それから次期地区ラーニングファシリテーター副リーダー山之内文治様より

・会長の役割と責務について

① ロータリーの理念と価値観

私たちがなぜロータリーに参加しているのか考え、自分の利益を超えて、地域社会、そして世界のために行動すること

② ロータリーの4つのテストは行動の指針

真実かどうか

みんなに公平か

行為と友情を深めるか

みんなのためなるかどうか

このシンプルな原則が、クラブ運営や対人関係において重要な指針となる。

③ クラブ会長としての役割

会長のミッションは、単に会を運営することではありません。クラブを活性化し、会員が誇りをもって活動できる環境を整えることが求められます。

1、ビジョンを示す

会長は、クラブの未来を描き、それを明確に伝えるリーダーです。ロータリーの戦略計画の優先事項と目標に沿った年度のテーマを決め、目標を設定し、それを会員と共有する。

2 チームを育てる

ロータリーはチームワークが大切です。会員一人ひとりの強みを活かし、適材適所に配置し役割を与えることが成功のカギとなる。

3 行動を起こす

計画だけでなく、実際に行動することが重要である。特に、地域社会に対する奉仕プロジェクトは、クラブの存在意義を示す絶好の機会。

リーダーシップにはさまざまなスタイルがあるが、ロータリークラブの会長に求められるのは「奉仕の心を持ったリーダーシップ」です。

○会員の話をよく聞く

リーダーは話すだけではなく、耳を傾けることも大切です。会員が何を求めているのかを知り共感し、行動に移す。

○モチベーションを高める

会員が楽しく、やりがいを感じながら活動できるように工夫する。そのためには、クラブの雰囲気づくりや成功体験の共有が大切。

○変化を恐れない

時代の変化に対応し、新しいアイデアを取り入れることも重要です。会員増強のために若い世代や多様なバックグラウンドを持つ人々を迎え入れる工夫をする。

次の3つの具体的なアクションプランを考える

- 1 例会の質を向上させる：魅力的なプログラムを用意し、参加者が学びと感動を得られる場にする。
- 2 地域社会とのつながりを強化する：地元の学校や企業と協力し、インパクトある奉仕プロジェクトを展開する。
- 3 デジタルツールを活用する：My Rotary や SNS を活用し、より多くの人にロータリーの活動を発信する。

○会員増強

第2730地区は68クラブあります。コロナ前と現在の会員数の差は68名の減です。各クラブ1名増強することによってコロナ前の会員に戻ります。そのことを鑑みて、2025-2026年度は各クラブ1名の増強をお願いされました。

○奉仕プロジェクト

ロータリーの要である職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕各委員会のスムーズな委員会活動をバックアップし、広報活動の強化、ロータリー財団グローバル補助金、地区補助金等のサポート、各学友、奨学生との交流等を推進する。

○ロータリー財団

各寄付金「0」クラブを目指す。

○青少年奉仕

ロータリー学友会とも連携して青少年並びに若者との関係性を保ちながら活動していく。

○地区補助金について

1. 地区補助金を申請する前に、地区補助金セミナーを実施し、各クラブからかならず1名の参加
2. 事業計画書の作成とクラブの参加資格認定書の覚書の確認
3. 地区補助金申請における年次寄付の要件
4. 申請期間については10月1日～12月31日まで

○米山記念奨学会への協力

年度目標として 普通寄付金 5,000円 特別寄付金 10,000円

公益事業の安定的・継続的な財源として、すべてのロータリークラブに安定財源として普通寄付金をお願いしている。

○広報・公共イメージ

地区内すべてのクラブに公共イメージの向上のための具体的な方法を提示することで、クラブ活性化のサポートをする。

17:20に一日目は終了し、18:30より懇親会がありました。

2日目は8時受付で8時半より西本ガバナーエレクトの点鐘で開始いたしました。

2日目は分科会。テーマは「居心地の良いクラブとは」 退会防止 会員増強 楽しいクラブ です。

宮崎県南部グループは2クラブだけの出席であったため、峰松ガバナー補佐、野中パストガバナー、田島奉仕プロジェクト部門長に同席して頂き、サポート、アドバイスをたくさんいただきながら、分科会が始まりました。

・退会防止について

やはりテーマの「居心地の良いクラブとは」に直接的に関係すると思います。というのは会員同士の仲の良さ、尊敬、尊重、をみなさんが持っているということが一番です。それにはフレンドシップ（仲よし）ではなく、フェロウシップ（一つの目的に向かう）の関係であることが、大事です。会員同士の目的、そして価値観が同じであるということです。

派閥があり、居づらくなり退会してしまうという意見もありました。身近な人（家族）の理解も退会防止については重要です。ロータリーへの理解があれば、毎週の例会、土日にある研修会などへの参加も、家族から理解されなければ、中々難しいです。

・会員増強

他のグループでは顔写真入りの会員名簿を作成しており、顔と名前をわかるようにしてました。誰が入会している分かります。そのため、会員を勧誘するときも使用しているとのことでした。どこのクラブでも一番の課題、若い会員を入会させることです。そのためにJC及び商工会議所青年部への訪問し、ロータリーに興味を持ってもらう。

・楽しいクラブ

他のグループの発表でも多かったのが、夜間例会や例会以外での呑み会です。やはりどのクラブもお酒での席だとコミュニケーションがとりやすく、普段聞けない話など聞けて打ち解ける。入会してまだ間もない会員への出番づくり。例会に慣れてもらうため、委員会発表等を指名し、発表してもらう。それを重ねていくうちに人前で話すことに慣れてくる。

・新入会員にロータリー用語の勉強会。

例会以外に昼食摂りながら実施している。強制ではないため、新入会員が出席しやすく、少人数で質問もしやすい。

そしてグループごとに分科会発表

分科会終了後、各グループの発表者は次期ガバナー補佐の指名した会長エレクトがおこなうとのことでした。峰松ガバナー補佐はもちろん私を指名してくれました。発表した内容は、先程話した内容でしたが、しどろもどろでめちゃくちゃな発表だったと思います。出番づくりをして頂いた峰松ガバナー補佐にはすごく感謝しております。仕事柄、百数十人の前に立ち発表をする機会は滅多にないし、いい経験になり自信にもなりました。最後に修了証の授与式があり、西本ガバナーエレクトからの挨拶があり2日間の研修が終了しました。こうして2日間の会長エレクト研修セミナーは私にとって、出会い、自信、習得、そして経験があったとても有意義な時間でした。

スマイル

築瀬 敦 君 先週の例会で、少し時間が余ったという事で大変私的なお願いをしました。例会でこんなことをお願いしているのかと思いましたが、息子の旅費を捻出するという背に腹は代えられぬ状況でしたので皆様にお願ひしました。ご協力くださった方々、ありがとうございました。

土屋 昭次君 会長ごめんなさい。!

出席率報告

	会員数	出席免除	出席定数	H C 出席	M U	欠席	出席	出席率(%)
今 週	30	7(4)	26	23	0	3	23	88.46%
出席免除	落丸、清水、渡邊、							
先取M U								
欠 席	石灘、榎木田							

事務局〒887-0014 日南市岩崎3-4-2 Itten 堀川ビル2F 創客創人センター内 TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515

会長：築瀬 敦 副会長：斉藤篤史 幹事：石灘寛樹 雑誌会報広報委員長：菊池希樹

雑誌会報広報委員会より

情報、原稿は、admin.pmy06@honda-auto.ne.jp まで送信してください